

# 学 習 日 誌

1 月 24 日 (金)	講 師	長谷川 孝 先生
出 席 者 数	39名	記 録 者 1 年 4 班 内田 美保子
講 座 名	社会的課題講座 4 時事サロン	
プログラム担当者	館・社会的課題講座グループ	
時 間・場 所	13:30 ～ 15:30 、 第 1 集会室 にて	

## 【学習内容】

第1部：グループディスカッション 13:30～14:30

6～11名の4グループにわかれ、示された4テーマのうち1つを選択してグループ討議した。

第2部：グループごとの発表と長谷川先生からの講評 14:45～15:30

【テーマ1：高齢者の社会的孤立問題】発表：高齢者の実態や自分の関わり方などを議論。参加する楽しさ、仲間作りの大切さを広めたい。あすなろ大学のCコースも有意義だったのでは？

講評：地域社会に生活者としての根っこがない高齢者は孤立するが、あすなろ大学はそういった高齢者にも広げられる大切な活動。参加を広げる工夫をすることが大事。

【テーマ2：夫婦別姓問題】発表：夫婦別姓はジェンダー平等の促進などのメリットもあるが、子どもの姓選択の難しさ、家族の一体感の希薄化などのデメリットがある。結論として反対。

講評：姓選択は個人の生き方の問題。法で決めず個人を軸に考えれば良い。夫婦別姓賛成。

【テーマ3：社会の分裂問題】発表：「分裂とは何か？」を議論した。発展のため・消滅に至ることも・多様化が原因・お金、権力と関係がある・分裂と結合は繰り返す等々……奥が深い。

講評：多様性を大事にすれば多極化するが、相互承認できないと対立的分裂に至る。相互批判できる関係性が大切で、それがあれば分裂ではない。

【テーマ4：環境問題 四季から二季へ？】発表：四季の利点は特にないが、火災・風水害の激化等があり、温暖化を防ぐために化石燃料の使い過ぎなどに関心を持ち続けるしかない。

講評：環境問題は、人間活動が地球に与えた影響により生物多様性が失われ、人間が生きられる環境が維持し難くなった問題。人間の営みをコントロールできるかが課題になっている。



【感想】社会的課題は誰にも関わることだが、議論する機会はあまり無い。考えをまとめて意見を発し、他の人の考えを聴く場を持つことは、課題に取り組むための大切な第1歩だと感じた。